

第2回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 議事概要

平成27年12月14日（月）

13:30～15:30

鳥取労働局 4階 大会議室

1. 開会

2. 開会の挨拶

《中国運輸局自動車交通部長 山根代理委員》

- トラック事業者の長時間労働を改善していくために、待ち時間の短縮など事業者だけでは解決できない問題もある。荷主企業の皆様方のご理解とご協力が不可欠。
- 本日の協議会では、先般開催されました第2回の中央協議会の概要、長時間労働の実態調査と進捗状況、さらには来年度実施予定とされているパイロット事業に向けた先進事例等の紹介が議題。
- それぞれの議題について、各委員の皆様方からご意見等を賜り、長時間労働の改善に向けての今後の取り組みの足がかりとしていきたいと考えている。

3. 出席者紹介等 ー委員名簿により紹介ー

- ・ 梶見委員、山内委員、神谷委員欠席
- ・ 小川委員代理 山根氏、谷口委員代理 梶井氏出席
- ・ 議事進行役として鳥取運輸支局長の但住委員を承認

4. 議題

(1) 第2回中央協議会からの報告（抜粋）

口頭により説明（鳥取運輸支局） ー省略ー

(2) トラック運転者労働条件改善事業等について

会議資料により説明（鳥取労働局） ー省略ー

(3) トラック輸送における長時間労働の実態調査について

会議資料により説明（鳥取県トラック協会） ー省略ー

(4) 「NHKニュース おはよう日本」DVD視聴（取締り強化で運送業に何が・・・）

ー省略ー

(5) パイロット事業に向けた労働時間短縮の取り組みについて

講演 (株)日通総合研究所 経済研究部 大島担当部長 一省略一

(講演についての質疑応答)

《中部貨物 河野委員》

○拘束時間短縮の取り組みとして紹介されているドライバーと積込作業員を別にする
ことについて、ドライバーが積荷を正確に把握していないことによる着荷主先での
積荷不足によるトラブルなどもあって難しい面がある。

《日通総研 大島担当部長》

○現場の仕組みを変えるのは、難しくすんなり行っていないケースもある。ある事例
では、積み込みを別の者にしてはどうかと提案したが、繊細な部分がありトラブル
が懸念されるのも事実。いろいろな面で地道に改善して行くしかないと考えている。

《交運労協 山崎委員》

○取組事例を見ると発荷主に限定されており、着荷主も含めた総合的な取り組みを入
れて頂きたい。

《日通総研 大島担当部長》

○言われるとおり着荷主側の手待ちの問題は大きい。短期間の取り組みの中でいろい
ろと処理しようとするという難しいところもある。我々もこれからの取り組みの中
で1つでも2つでもPRできればと考えている。

《トラック協会 前田委員》

○パイロット事業を進めて行く中で、日通総研にアドバイスをもらうことができるか。

《日通総研 大島担当部長》

○次年度以降どういうお手伝いができるかという枠組みが決まっていない。おそらく
中央で仕組みが決められると思うが、仮にその場に参加できる場があれば是非お手
伝いさせて頂きたい。

(全体としての質疑・意見交換)

《八幡運輸 八幡委員》

○日通総研として企画提案される際の考え方(方針)について何かありますか。

《日通総研 大島担当部長》

- 物流の効率化にいかにか寄与できるかという考え方の中で、行政と業界団体が実施されている調査等をサポートすることと、荷主を中心に物流の現場の改善というコンサルティングを行っている。
- 特にドライバーの確保、労働力の確保という面で、ドライバーの労働条件の改善というところを共通の認識として図っており、様々な取り組みを幅広く PR していこうとしている。HP 上でも、いくつか事例を紹介している。
- 物流の効率化のために、いかに労働条件を改善していくか、ドライバーを適切に確保し、物流事業者が適正な利潤を得ながら、ドライバーとしても適正な労働条件の下で働いていくことが出来るかという点を大きく意識している。

《中小企業団体中央会 清水委員》

- 女性の活躍だけでなく高齢者の活用、支援をお願いしたい。
- トラック業界の料金体系について、トラック 1 台に積める量に拘束時間を掛けた料金体系という概念はあるのか。

《事務局（鳥取労働局）》

- 高齢者の方の雇用の確保については、既に、高齢者雇用安定法に基づき、65 歳まで継続雇用するための措置を行うよう事業主に求めている。
- 女性の活躍という観点だけでなく、誰もが働きやすい職場環境を目指していくため、今後も継続していきたいと考えている。

《事務局（鳥取運輸支局）》

- トラック業界の料金体系については、トラック事業法の規制緩和に伴い、規制が取り払われた。荷主と事業者双方で決めていくものとなる。
- 行政としては、説明会等を通じて適正な運賃が収受できるよう、サポートをしているところ。

5. 閉会の挨拶

《鳥取労働局長 河野委員》

- 日通総研の大島氏には、具体的な事例を分かりやすく説明して頂いた。その中で、現場としてうまくいくかどうかという課題も見えて来た。
- 物流は非常に重要な分野であり、関係者が知恵を出し合いながら進めていきたい。
- 鳥取県内の有効求人倍率が 16 年ぶりに 1.2 倍を超えた。その中で自動車運転者の有効求人倍率は 2 倍を超えている。
- 協議会を通じてトラック輸送を取り巻く環境の改善、優秀な人材の確保を目標に今後も議論協議していきたい。

6. 閉会